

**製品名: LARG ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13217**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	173kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ARHGEF12
別名	ARHGEF12; KIAA0382; LARG; Rho guanine nucleotide exchange factor 12; Leukemia-associated RhoGEF
遺伝子 ID	23365.0
SwissProt ID	Q9NZN5
免疫原	抗血清はヒト ARHGEF12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 449-498

**背景**

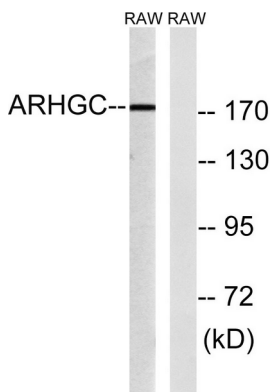
Rho GTPase は、G タンパク質共役受容体を介して細胞外刺激によって開始される数多くの細胞プロセスにおいて、基本的な役割を果

たします。コードされているタンパク質は G タンパク質と複合体を形成し、Rho 依存性シグナルを刺激する可能性があります。このタンパク質は、急性骨髄性白血病において骨髄系 / リンパ系融合パートナーを形成することが観察されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2014 年 7 月];疾患: ARHGEF12 に関連する染色体異常が急性白血病の原因である可能性があります。MLL との転座 t(11;11)(q23;q23)。機能: グアニンヌクレオチド結合  $\alpha$ -12 (GNA12) および  $\alpha$ -13 (GNA13) による RhoA GTPase の制御に関与している可能性があります。RhoA GTPase のグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) として機能し、GNA12 および GNA13 の GTPase 活性化タンパク質 (GAP) として機能する可能性があります。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。配列注意: コンタミネーション配列。ポリ A 配列の可能性があります。類似性: 1 つの DH (DBL 相同) ドメインを含みます。類似性: 1 つの PDZ (DHR) ドメインを含みます。類似性: 1 つの PH ドメインを含みます。類似性: 1 つの RGSL (RGS 類似) ドメインを含みます。細胞内局在: 刺激により膜に移行します。サブユニット: おそらく RGS 類似ドメインを介して、GNA12 および GNA13 と相互作用します。RHOA、PLXNB1、および PLXNB2 と相互作用します。PDZ ドメインを介して IGF1R $\beta$  サブユニットと相互作用する。組織特異性: 普遍的に発現する。アイソフォーム 2 は空腸と精巣に認められる。

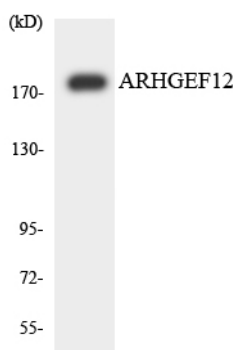
## 研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

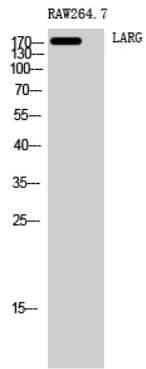
## 画像データ



RAW264.7 細胞ライセートの ARHGEF12 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



ARHGEF12 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



LARG ポリクローナル抗体を用いた RAW264.7 細胞のウェスタンブロット解析